

	WebFacing V5	HATS V5	HOD V8	
基本機能	コンセプト 既存の5250ユーザーからの切替を意識した、画面操作性の実現。基本的にはツールで自動生成したレベルで十分に使用できる。	あらゆる5250/3270画面を単純な仕組みでWeb化する。自動変換でも十分な機能を実現するが、HATSスタジオによる強力なカスタマイズ機能を利用する事でさらに高度な画面設計が可能	PCOMの代替製品。各PCに個別にエミュレーターを導入する管理コストを削減する。	
	5250画面DDSソースより事前に生成したJSPを利用してWebページを表示。5250画面と親和性の高い入力・表現をWebページ上で表示。よって基本的には5250DSPFソースファイルが存在しない画面は使用できない (IBMがWebFacing用に提供しているシステム画面は表示可能。2004/06現在ではプログラムメッ 5250画面DDSソースより事前に生成したJSPを利用してWebページを表示。5250画面と親和性の高い入力・表現をWebページ上で表示。よって基本的には5250DSPFソースファイルが存在しない画面は使用できない (IBMがWebFacing用に提供しているシステム画面は表示可能。2004/06現在ではプログラムメッ	5250データストリームをダイナミックにWebページに変換して出力。あらゆる5250画面でも全てWebページで使用する事が可能。一方、5250フィールド属性は感知しないためデフォルトでの操作性でPCOMとの差異あり (HATSスタジオからのカスタマイズで対応可能)。	N/A	
特徴	ウィザードによる変換作業だけでPCOMと同等の操作性を実現するアプリケーション実行モジュールを生成。 分かり易いカスタマイズ機能 (ただし機能は限定的)	接続するiSeriesホスト情報の設定だけで実行用の定義完了。 HATSスタジオによる強力なカスタマイズ機能 (Javaスクリプト等の知識がある方が、よりカスタマイズの範囲を広げられる)	開発作業は原則不要。	
	フィールド属性入力値チェックをJavaスクリプトで自動生成 (DDS属性に基づく5250画面に忠実なキーボード操作の再現)	システム提供画面を表示可能。 (フィールド入力チェック相当機能もカスタマイズにより対応可能)	PCOMと同等	
	5250画面との比較	Webに表示する画面は、オリジナルの5250画面と1対1の画面対応となる。5250と類似の画面表示文字数・フィールド数の制約を最も受ける。 HATSスタジオを利用してカスタマイズする事により複数の5250画面を一枚のWebページにマージして表示する事が可能。 (原則同一iSeries上の複数の5250画面のマージ)	PCOMと同等。	
画面遷移のカスタマイズ	不可。5250画面と同じ画面展開 (画面遷移) となる。	可能。マクロ作成し表示順序などを変更可能。	不可。5250画面と同じ画面展開 (画面遷移) となる。	
基本的な実行のしやすさ	バックグラウンドに対話型5250ジョブを起動。サーバー上で5250画面をJSPへ変換して出力。	バックグラウンドに対話型5250ジョブを起動。サーバー上で5250画面をHTMLへ変換して出力。	PCOMの実行モジュールに相当するアプレットをHODサーバーからダウンロード。アプレットはPCOMと同様TELNET接続。	
必要なサーバージョブ	HTTP, WAS, WebFacingサーバー	HTTP, WAS	HODサーバー (アプレットダウンロード用)	
実行可能なアプリケーションの前提	5250画面のDDSソースファイルが存在する事	5250/3270アプリケーションであれば特になし	5250/3270アプリケーションであれば特になし	
適用例	製品の特色を活かした活用例	・数百画面以上にわたるような大規模な5250画面を短時間でWeb化した。 ・PCOMとの画面操作の親和性に留意したい場合。 ・実行時クライアントライセンス料金が不要なため、コストを抑える事が出来る。	・PCOMの代替として適用。 ・サーバー再度に一元的にエミュレーターの実行モジュール、端末定義を保持。・PTF適用、リリースアップ作業を一回で完了。 ・回線速度の遅い遠隔地・モバイルからの使用時	
	開発	小	小～中	N/A (小)
	開発工数	小	小～中	N/A (小)
開発	デフォルトで変換された画面の携帯電話対応	×	×	×
	画面カスタマイズ	標準で提供されるカスタマイズ範囲はイメージの追加、ハイパーリンク等、限定的	イメージに加え、プルダウンリスト、表、グラフ表示などを容易に追加可能。 (自由度は比較的高)	画面カスタマイズは基本的には出来ない。
	他のWebアプリケーションとの統合	ツールで生成したJSPを編集する事で可能 (HATSよりは限定)	カスタマイズ・ビジネスロジックを追加する事で可能	HACLを利用
	開発時に必須のスキル	WASでのアプリケーション構成知識 DDSキーワードの知識	WASでのアプリケーション構成知識 HATSスタジオの操作スキル	httpサーバー、HODの構成
あると望ましいスキル	Javaスクリプト	Javaスクリプト		
運用	既存5250アプリケーション変更時の対応	DSPFの変更が発生した場合は、そのDSPFを再変換する必要がある。プログラムロジック変更など画面定義を変更しない場合は対処不要。	HATSスタジオなどで画面定義をしていない場合は基本的に対処不要。HATSスタジオでカスタマイズを行なっている場合でかつ、5250画面の変更が発生した場合には、HATSスタジオで作成した画面定義の修正が必要。	特に不要。
	機能	システム提供画面 (WRKxxxコマンド、WRKQRY等) のWebページからの表示	(IBMがWebFacing用に提供しているシステム画面は表示可能。2004/06現在ではプログラムメッセージ画面のみ表示可能)	(PCOMと同じ)
機能	対応ブラウザ	IE	IE, Netscape	IE, Netscape
	Field Exitキー		(ただし、カスタマイズが必要)	(PCOMと同じ)
	キーボードマッピングのカスタマイズ (実行キーを右ctrlキーにマップする等)	(一部のキーは可能)	(一部のキーは可能)	(PCOMと同レベル)
	ブラウザ強制終了時の動作	バックグラウンドのQINTER対話ジョブを自動的にENDJOB実行	デフォルトは対応なし。JavaスクリプトでバックグラウンドQINTERジョブをENDJOBするスクリプトを作成可能	(PCOMと同じ) ENDJOBを実行
	ワークステーションIDの固定	×	(可能)	(可能)
	対話型CPW	2003年以降発表の8xxでは対話型カード不要。2002年以前のモデルでは対話型カードが必要。	対話型カードが必要。	対話型カードが必要。
	サポートするホストインターフェース	5250	3270 / 5250	3270, 5250, V5, JDBC, CICS Gatewayアプレット等